

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：むつみ愛児園	種別：認可保育所	
代表者氏名：渡邊 ツネ子	定員（利用人数）：50名	
所在地：〒220-0002 横浜市西区南軽井沢56		
TEL：045-311-4940	ホームページ：https://mutumiaijien.com	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1980年12月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：個人		
職員数	常勤職員：9名	非常勤職員：5名
専門職員	（専門職の名称）：名	管理栄養士：1名
	保育士：11名	栄養士：1名
	調理師：1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：保育室3室	設備：厨房
		設備：事務室
		設備：トイレ
		設備：園庭

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

子どもの健やかな成長を見守り、知性、情緒、行動、衛生などあらゆる面から子どもの発達を支援し、保護者からも信頼される保育園を目指します。

## &lt;基本方針&gt;

《こころもからだもしょうぶなこ》

●一人ひとりの個性を尊重し、自主性を育み、遊びを通して協調性、忍耐力を培い、心身の健康と自立を育む保育

## &lt;保育目標&gt;

1. 心身ともに豊かな子ども
2. 思いやりのある子ども
3. 意欲を持つ子ども
4. 自分で考え行動のできる子ども

## ④施設・事業所の特徴的な取組

## &lt;むつみ愛児園の特徴的な取り組み&gt;

●むつみ愛児園では、緑の多い園庭で季節を感じながら、のびのびと身体を動かして運動遊びや砂場遊びをしたり、虫探しや草花と触れ合ったりして楽しく戸外遊びをして過

ごしています。園庭周辺での夏野菜や冬野菜の栽培活動（種まき・水やり・収穫）を通して身近な野菜を観察し、触れ合いながら興味関心を持てるようにしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年06月23日（契約日）～ 2023年01月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2017年度）

⑥総評

【むつみ愛児園の立地・概要】

むつみ愛児園は、JR横浜駅から徒歩13分、西区北部の神奈川区境付近に位置し、東に沢渡と台町、西に宮ヶ谷、南に楠町、そして北の北軽井沢に接する丘陵途中の斜面・平地に位置しています。現在の園舎は、歴史と共に懐かしさと安心感を醸す木造平屋建てですが、園長の交代に伴い、個人経営から会社経営に改組の予定であり、認可保育所継続に向けて令和5年4月から新園舎建設を予定しています。

むつみ愛児園は、昭和25年11月1日に開設され、72年目を迎える由緒ある保育園です。2歳～5歳児の保育を実施し、園舎は園庭に面してL字型に建ち、入口から正面、トイレを挟み左に4歳児保育室、右側に2歳、3歳児保育室が設けられ、5歳児保育室は園庭の右側に位置しています。その奥には厨房と職員室、事務室があり、園庭から各保育室に入室できる構造になっており、保護者ともコミュニケーションが取りやすい配置になっています。樹木に囲まれた園庭には、ジャングルジム、鉄棒、すべり台、つるつる山、砂場を設置し、子どもたちがのびのびと十分に遊べる広さを有しています。むつみ愛児園は、地域に根差した開かれた保育園を目指し、園庭開放・育児講座・交流保育等を実施し、地域とのかかわりを大切にしたい温かい保育園です。

◇特長や今後期待される点

1. 【「向き合う保育」の推進】

むつみ愛児園は、理念を基に、子どものあるべき姿を示した保育目標に沿い、年間指導計画を策定し、子どもの「今」を見つめつつ、人間形成の基礎作りへの支援の在り方について話し合いを重ね、全職員で共通認識を図り、保育に当たっています。職員は、園生活を如何にして大切に過ごすことができるか、「子ども」と「今」を熟考し、子ども一人ひとりに向き合いながら、意識統一の下、保育に取り組んでいます。

2. 【子どもの自立に向けた援助】

むつみ愛児園の特徴の1つである園庭では、子どもたちはスコップ、コップ、小さなバケツで砂のお菓子等を作ってケーキ屋さんごっこや、ボール蹴り、牛乳パックの手作りの新幹線で遊び、なわとび等、思い思いの遊具を持ち出し、創造力豊かに遊び、子ども同士でルールを設け、互いを思いやりながら遊びを楽しんでいます。また、滑り台やジャングルジム、鉄棒、つるつる山への山登り、かけっこ等、子どもらしく活発に遊ぶ中、保育士も遊びに入りながら絶え間なく子ども一人ひとりに目配りをしながら見守り、子どもが好む環境作りを考え、子ども本位に配慮しています。園庭で遊びを終えた子どもたちは、使っていた遊び道具を収納かごに戻し、「使ったものはきちんと片づける」、「片付けのできる人」としてマナーが自然と身に付くよう、自立に向けた保育を遊びを通して育まれています。

3. 【保育所の専門性を活かした相談機能】

むつみ愛児園は、72年の歴史を持った由緒ある保育園であり、戦後、焼け野原となった

この地に、子どもたちを集めて遊べるようにとの思いから始まりました。子育て支援については前園長の志を受け継ぎ、むつみ愛児園が長年培った多くのノウハウを生かして、現代理論を尊重しつつ、保育は「人が人を育てる」という子育ての信念・ノウハウを生かし、いつまでも地域の財産として取組んで欲しいと思います。保護者のみに留まらず、地域の母親等への教示、子育て相談を定期的実施する等、むつみ愛児園ならではの地域に向けた取組みに期待しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 むつみ愛児園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組みの感想》

評価の項目について話し合いを重ねる中で、職員一人ひとりが自己の保育を振り返り、保育環境を見直すことで、保育の質の向上にもつながる良い機会となりました。

保護者のご意見からは、保育園に対する要望や、不安等を伺うことができましたので、より一層、理解を深めていただけるような対応を心がけて行く必要を感じました。

今後も、子どもたち、保護者や地域の方々に信頼され、愛される保育園運営を行いながら保育の質の向上に取り組んで参ります。

《評価後取り組んだ事として》

1. 保護者との信頼関係を大切にして、子どもの安全、安心、自由、育ちや保護者の支援のさらなる充実
2. 個人面談や、情報提供の方法等、保護者目線で具体的に対応を検討していきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり